

第36回 Cafe プレイエル&ギャラリーやましろ

開店10周年記

渡邊 孝 スピネット リサイタル

いにしえ

～時空を超えて甦える古のひびき～

所蔵 **スピネット** と
エラール・プレイエル のピアノを
渡邊 孝 が至高の音色で奏でます



2012年 6月18日 (月)

開演 午後2時

Cafe プレイエル 喫茶ホール

4,500円 (前売り券のみ)

定員30名

☆申込み カフェプレイエル

TEL 0263-92-8158

program

～スピネット(チェンバロ属)の可能性に挑む～

スピネット製作: 吉岡弘司製作 2001年

☆ J.J.フローベルガー作曲

ウト、レ、ミ、ファ、ソ、ラによるファンタジア

☆ G.フレスコバルディ作曲 カプリッチョ

☆ J.P.スヴェーリンク作曲

『わが青春はすでに過ぎ去り』による変奏曲

『緑の菩提樹の下で』による変奏曲

☆ J.S.バッハ作曲

ファンタジアとフーガ イ短調 BMV904

ふたつのメヌエット ト長調 ト短調

(アンナ・マグダレーナ・バッハのクラヴィア小曲集より) 他

～2台のアンティークピアノのひびき～

☆エラール No.95465 1909年 in Paris

☆プレイエル No.174215 1923年 in Paris

	使用楽器
スピネット	吉岡弘司製作 2001年
エラール	No.95465 1909年 in Paris
プレイエル	No.174215 1923年 in Paris

Takashi Watanabe (チェンバロ) プロフィール

1975年長野市出身。東京音楽大学(ピアノ専攻)卒業。桐朋学園大学研究科(チェンバロ専攻)修了。チェンバロを渡邊順生氏に師事。

1998年 ブルージュ国際チェンバロコンクールでディプロマ受賞

1999年 第13回古楽コンクールで最高位

2002年 拠点をヨーロッパに移し、アムステルダム音楽院にてボブ・ファン・アスペレン氏に師事。

現在はイタリアに在住。ミラノ市立音楽院にてロレンツォ・ギエルミ氏にオルガンを師事し、

2010年にディプロマを取得。

2004年に結成したアンサンブル・リクレーアツィオン・ダルカディアではボンポルティ国際古楽コンクールにて第1位。

その後ヨーロッパ各地での演奏会は大きな支持を得ている。

日本では2003年より『ヘンデル・フェスティバル・ジャパン』の指揮者として活躍したほか、

チェンバロ・ソロリサイタルも注目を集めている。

ヨーロッパ各地でもソリスト、また通奏低音奏者として著名な演奏家との共演も多い。

2006年ケーテン(ドイツ)のバッハ・アーベル国際ヴィオラ・ダ・ガンバコンクールにてチェンバロ特別賞を受賞。

2007年10月のアムステルダム(オランダ)で行われたスヴェーリンク・オルガンコンクールではディプロマを受賞した。

2010年 ファーノ・アドリアーノ国際オルガンコンクール(イタリア)にて第3位を受賞。

2008年度文化庁芸術家在外派遣研修生。

2012年6月には、初ソロCDとなる、J.S.バッハ《ゴルトベルク変奏曲》をコジマ録音よりリリース。

